

◇◇ 2017年シーズンの全国大会・ブロック大会結果 ◇◇

あけましておめでとうございます。平成30年を迎え、各チームや選手諸君はそれぞれの課題を検証し、シーズンインに向け、対策と強化に取り組んでいることと思います。最高学年となった選手諸君は、NYBOCの掲げる「始めよう！楽しもう！続けよう！」のキャッチフレーズを思い出し、野球の継続を選択してくれることを願っております。さて、各団体の全国大会や地区大会が日本各地で行われました。残念ながら本県から「全国制覇」するチームはありませんでしたが、それぞれの大会結果等を掲載します。*加盟チーム数により他県とのブロック開催の団体もあります。

<新潟県野球連盟>

高円宮賜杯第37回全日本学童軟式野球大会(マクドナルド・トーナメント)

2回戦 村松中央野球スポーツ少年団 3-5 常磐軟式野球スポーツ少年団

<新潟県スポーツ少年団>

第39回全国スポーツ少年団軟式野球交流大会北信越大会 <県内チームの全国大会出場ならず>

1回戦 DMクラブ 3-4(タイブレーク) 津幡どんぐり(石川)
 2回戦 燕西小 3-6 山室マリナーズ(富山)

<リトルリーグ新潟ブロック>

第51回全日本リトルリーグ野球選手権信越連盟決勝大会 <県内チームの全国大会出場ならず>

1回戦 新潟東 15-8 波田(長野) 1回戦 新潟西 1-8 上田(長野)
 1回戦 新潟南 8-6 松本北(長野)
 2回戦 新潟東 0-10 長野東(長野) 2回戦 新潟南 1-26 上田南(長野)

<リトルシニア新潟ブロック>

第45回リトルシニア日本選手権大会信越大会 <新潟五泉村松が全国ベスト16>

1回戦 柏崎 1-0 弘前聖愛(東北) 2回戦 新潟五泉村松 4-0 市川(関東)
 2回戦 柏崎 0-4 世田谷西(関東)
 3回戦 新潟五泉村松 7-9 江戸川中央(関東)

<新潟ポニー>

第41回関東連盟春季大会兼第21回全日本選手権会長杯大会予選

1回戦 新潟ポニー 2-13 北千葉

第2回全日本選手権理事長杯大会

1回戦 新潟ポニー 8-6 栃木ポニー
 2回戦 新潟ポニー 0-13 EAST東京ワイルドシングス

<新潟ヤング>

第26回ヤングリーグ選手権大会北日本支部予選 <来春の第26回ヤングリーグ全国大会に3年ぶり3回目の出場>

1回戦 新潟ヤング 10-2 秋田ヤング
 2回戦 新潟ヤング 11-2 BCS仙台・二本松少年隊連合

<新潟ボーイズ>

第48回日本少年野球選手権大会長野県支部予選 <県内チームの全国大会出場ならず>

1回戦 新潟ボーイズ 4-6 諏訪ボーイズ(長野)

<新潟県中学校体育連盟>

第39回全国中学校軟式野球北信越大会 <県内チームの全国大会出場ならず>

1回戦 小出中 3-1 大東中(福井) 2回戦 上山中 4-0 大門中(富山)
 2回戦 小出中 0-6 佐久長聖中(長野) 準決勝 上山中 1-2 根上中(石川)

<新潟県高校野球連盟>

第99回全国高校野球選手権新潟大会

1回戦 日本文理 9-5 鳴門渦潮(徳島)
 2回戦 日本文理 0-1 仙台育英(宮城)

第62回全国高校軟式野球選手権北信越大会 <県内チームの全国大会出場ならず>

1回戦 津南中等 1-2 岡谷工(長野)



第9回 BFA U-15アジア選手権日本代表
 本県から長谷川優也君(黒埼中)が選出!!

11月1日~5日までの5日間、静岡県伊豆市の志太スタジアムを会場にし、日本、チャイニーズ・タイペイ、韓国、パキスタン、香港、フィリピンの6カ国で開催された大会に、黒埼中3年の長谷川優也君が選出され、日本代表として国際大会に参加してきました。本来、自チームでは主戦投手ですが、打撃を期待され全5試合に内野手として出場。期待された打撃よりも守備で3つのポジションを賄い、日本代表の優勝に貢献してきました。以下に、長谷川優也君の感想を掲載します。



U-15侍 Japan メンバーとして活動して

新潟市立黒埼中学校 長谷川優也

今回、U-15侍 JAPAN に選出され、自分が一番驚きました。初めの頃は自分が JAPAN のユニホームを着てもいいのかもしれないという弱気がありました。実際に着てみるととてもかっこよかったです。JAPAN のユニホームを着て野球をする時は、いつも以上に基本的なところでミスができないという緊張感がいっぱい、普段通りのプレーをすることが難しかったです。しかし、自分がやってきたことを信じて思い切ってプレーすることを心がけ、結果として全試合に出場することができて本当によかったです。

U-15のみんなはすごくレベルが高い人ばかりで、今回の経験で本当にたくさん学ぶことができました。これからはみんな別の学校で日本一を目指していくことになるので、僕も日々みんなのことを思い出し、いいライバルとして頑張りたいと思います。今大会で僕たち JAPAN チームが2度目のアジア NO.1 になれたのは、やはり18人が一つになったから成し遂げられたのだと思います。最後はチームが一つになって戦えて負ける気がしませんでした。本当に楽しかったし、野球の楽しさや野球への考え方が変わりました。

今後の目標は、まず土台を作り、基本をしっかりして、甲子園で優勝し、U-18に選出され、もう一度 JAPAN のメンバーとしてプレーできるように頑張ります。そして、トップチームの JAPAN のユニホームを着て日本を世界一に導きます。そのためには、この合宿・大会で学んだ礼儀、感謝という気持ちをしっかりともっていかなければならないと思います。そして、これからは野球と人間性のどちらも一流になれるように頑張ります。

今回、様々な面で多くの方々へ支えていただき、それらの方々へ感謝しなければならぬと思いました。そして、応援してくださった人たちに中学校3年間の最後に最高の恩返しをできたと思います。今回は侍 JAPAN の一員として野球ができて本当によかったです。ありがとうございました。

第9回 BFA U-15 アジア選手権結果

- 11/1 日本 26-0 香港
 - 11/2 日本 10-0 フィリピン
 - 11/3 日本 3-0 チャイニーズ・タイペイ
 - 11/4 日本 15-2 パキスタン
 - 11/5 日本 1-0 韓国
- 【順位】
- 1位 日本、2位 チャイニーズ・タイペイ
 - 3位 韓国、4位 フィリピン
 - 5位 パキスタン、6位 香港



第5回

みなさんのNYBOC理解度を試すクイズです!

- 1 NYBOCの「21c型穂波プロジェクト」を応援している新生侍ジャパントップチーム監督は誰? ()
- 2 新潟メソッドで、「助け合いの心を持ちましょう」の章で、無駄に終わるかもしれないけど「大切にしよう」と呼びかけているプレーは何? ()
- 3 新潟メソッドで指導者に求められることとして、「選手の〇〇を尊重しよう!」の〇〇とは何? ()

※答えはP4にあります。

新潟県中学校・高等学校野球指導者講習会を開催



11月23日(木)、新潟市中央区のホテル日航新潟において、新潟メソッドの取り組みを応援くださっている元ソフトボール日本代表監督の宇津木妙子氏(NPO法人ソフトボール・ドリーム理事長)を講師として、中体連、高野連共催の指導者講習会を開催しました。会場には約300名の中学校・高校の野球部顧問が参加し、熱心に話す宇津木氏の言葉を逃すまいと、参加者は時折メモを取りながら、その軽妙な話術に引き込まれていました。

宇津木氏は講演の中で、野球同様、減少する競技人口の対策の1つとして、ジュニア期に「勝つ=楽しい」ではなく、勝利至上主義による「今勝つこと」よりも、「将来の成長のため」を考えた指導を、指導者に求めていることを披露されました。このことは、「多くのジュニアスポーツでも共通することであるが・・・」と強調されていました。

第9回慶友野球セミナーに参加して

NYBOC副会長 島田 修

去る12月2日土曜日、群馬県館林市の慶友整形外科病院が主催する標記セミナーに参加させていただきました。この地域では同病院スポーツ医学センター長の古島弘三先生が中心となり、県スポーツ少年団の軟式野球指導者にライセンス制度を導入するなど、先進的な取組を展開しています。

当日は講演、ディスカッションを通じて、医療、メジャーリーグ、プロ野球、少年野球の現場、ジャーナリスト等々さまざまな視点から、野球界の課題とこれからについて貴重な意見が交わされました。

中でも小、中、高、それぞれの段階でチームが勝利を求めすぎのあまり優秀な選手ほど「早熟化」が進み、これによってスポーツ障がいをはじめとする多くの「ひずみ」が生じていること、指導者の選手に対するリスペクトが不足している現状があることについては、今後の大きな課題として確認されました。

また、この翌日には日本ハムファイターズスカウト部長の大淵氏を中心として展開している「Hello! WASEDA PLAY-BALL PROJECT」を視察してきました。子どもたちに野球の楽しさを伝えるためのイベントですが、このような取組は全国に確実に広がっています。NYBOCは無理をせず、しかしその先駆けとして歩み続けていきます。ご協力をよろしくお願いいたします。



パネルディスカッション



斎藤 隆氏を含むセミナー参加者

少年野球教室の講師に高校球児を活用しませんか！



全国的に野球人口の減少が話題となる中、今年度から日本高等学校野球連盟の規則が緩和されたまました。野球の魅力や、競技の継続と将来の高校球児を育む目的で、小学生と高校生が単独チーム同士でも合同練習が可能となりました。すでに、他県では、マスコミも取り上げて少年野球教室として報じていますが、本県でも数例、計画されています。普段の練習に刺激を与える面でも互いに効果が期待されます。なお、希望される小学生チームは、近隣の高等学校野球部や加盟団体へお問い合わせください。また、各高等学校野球部からも連絡のある場合がありますので、その際はご検討ください。

新潟青少年ベースボールフェスタ2018開催

NYBOC主催事業で毎年12月に開催してきた「新潟青少年ベースボールフェスタ」ですが、今回は「新潟青少年ベースボールフェスタ2018」として1月に開催いたします。今回で第5回となる本フェスタでは、前回同様、野球肘の早期発見を目的とした野球肘検診、日々の練習に取り入れていただきたいコンディショニング教室、トレーニング教室、野球の基本を学ぶ野球教室を企画しております。野球肘検診は、シーズンオフにチェックを行い、春からのシーズンに野球を楽しめるよう、必ず受けることをお勧めします。

なお、参加申込みは12月15日をもって締め切りました。

- 1 期日 平成30年1月20日(土)、21日(日)の2日間
- 2 会場 HARD OFF ECOスタジアム新潟
- 3 詳細 野球障害ケア新潟ネットワークのウェブサイトへ

<http://www.baseballcarenetwork.jp/>

野球フェスタ2018
青少年野球団体協議会主催
ベースボールフェスタを開催します！
オフシーズンに肘のチェック、野球教室など

開催日時：平成30年1月20日(土) 1月21日(日)
場所：ハードオフエコスタジアム 会議室等

～内容～

- ★野球肘検診(小学生) ・簡単な肘のチェックをして安心しよう
～野球肘は重症化させない～
- ★コンディショニング教室(小学生) えちごストレッチ
- ★トレーニング教室(小学生) こしひかりトレーニング
- ★野球教室(小学生) ・野球の基本を学ぼう
- ★野球医事相談(中・高生) バイタルネット・新潟医療福祉大硬式野球部
～専門医・理学療法士が中学、高校生の相談～
- ★体幹トレーニングの実践(高校生) シーズンオフに体のチェックとケア
- ★マネージャースキルアップ(高校生) 教員対応・テーピングマスター
- ★ボールリレーコンテスト
- ★研修会

～主催～ 新潟県青少年野球団体協議会
～協力～ 新潟大学整形外科
新潟県臨床整形外科医会
新潟県理学療法士会
新潟スポーツ理学療法研究会

Member's Information

加盟団体からのお知らせ

野球障害ケア新潟ネットワーク

スポーツドクターと理学療法士等で組織する団体です！

野球障害ケア新潟ネットワークは県内の野球好きの医療関係者が集まって野球少年のサポートをする組織として平成23年に発足し、新潟県野球団体協議会(NYBOC)に加わりました。ネットワークのメンバーは医師、理学療法士、検査技士などから構成され、普段は病院や診療所で仕事をしていますが、野球肘検診や研修会などに集まって県内各地で活動を行います。野球手帳や新潟メソッドの制作にも協力し、野球少年のケガや故障を少しでも減らすために医学的な情報を提供します。私たちが始めた野球肘検診はこれまでに13000人の子供たちの肘をチェックしてきました。また4年前から始めたベースボールフェスタでは野球肘検診だけでなく野球教室やトレーニング教室など野球を学ぶ2日間としてエコスタジアムに県内全域から野球少年が集まります。

今後も野球少年たちが故障なく野球を続けられるために、また、故障で野球をあきらめる選手を減らせるように、様々な活動を行っていききたいと思います。野球が新潟の子どもたちを元気に大きく成長させることをいつも応援しています。



NYBOC & METHOD チャレンジ

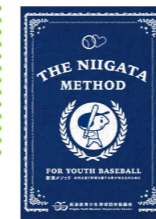
第5回の答え

1. 稲葉篤紀
2. カバーリング
3. 人格

次号につづく！

「新潟メソッド」を冊いかがですか？

この「新潟スタイル」を全国へ！



購入希望は、E-mailで
nyboc@grace.ocn.ne.jp
へお問合せください！

ケガのないチーム作りを目指して！

肩肘検診やコンディショニング講習会などを考えている団体やチームのみなさんへ、野球障害ケア新潟ネットワークの派遣についても、NYBOCへお問合せください。



あなたのプレーを守りたい

〜〜編集後記〜〜

昨年のドラフトでも、県内チームから高校生1名、県出身の大学生1名が指名された。育成ドラフトでも2名が指名され、話題となった。また、シーズンオフに入り、現役や元プロ選手による野球教室が県内各地で開催や計画がされている。県内出身者も多く招かれ、野球少年の憧れとなっていると思う。

一方で、p3のように、学童層対象の野球教室を高校生が行えるようになった。「近所のお兄ちゃん」と一緒に野球をすることで、身近な憧れとなり、競技人口維持の一助となると思う。また、高校生も教えることが、技術の理解と向上に役立ち、学ぶべきものが多くあると思う。積極的な活用となるよう期待したい。

＜広報委員長 中原文二＞

始めよう！楽しもう！続けよう！



野球を通じた友情の育成と
スポーツ障がいの予防に取り組む
"21c型種波プロジェクト"始動！
ニイガタほなみ

「いいプレーには
自然と拍手がわく
グラウンドっていいよね
敵味方なく、ね！」



NYBOC

Niigata Youth Baseball Organization Council
新潟県青少年野球団体協議会

NYBOCは新潟メソッドを推奨しています